



地域に開かれた「こころ」の相談活動 (カウンセリング・プレイセラピー)

京都大学大学院教育学研究科附属臨床教育実践研究センター心理教育相談室

活動場所

活動目的・背景

「心理教育相談室」では、社会に開かれた相談室として、さまざまなこころの悩み・症状をもつ方々のお力になるために、心理教育相談活動を行っています。当相談室は長い歴史と多くの活動実績を持ち、すでに広く市民の方々や他の教育機関・医療機関等にも定着しています。



取組概要

ご自分のことやご家族のことなどについてのさまざまな悩みや症状を抱えて来談される方々に、カウンセリングやプレイセラピー（遊戯療法）を行い、一緒にそれぞれの問題を乗り越えていく道を探ります。教員の指導のもとに、基本的には大学院生が担当しています。

成果・今後の課題

来談される方々がそれぞれの問題を乗り越えていく過程をサポートするべく、ここまで相談活動を積み重ねてきました。また当相談室は大学院生の訓練・教育機関でもあり、ここで訓練を受けた院生が他の場所でもこころの相談活動に携わることで、広く社会に対して貢献してきました。

本取組に関する

京都大学大学院教育学研究科

お問合せ先

附属臨床教育実践研究センター 心理教育相談室

TEL : 075-753-3056

E-Mail :

関連 Web サイト

http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/overview/facility/counseling_room